

学科	担当教員	タイトル	メッセージ・概要
日本文学科	大西 由紀	「良い翻訳」って何だろう——“I love you”を「月が綺麗ですね」と訳すことについて	「日本人は面と向かって「愛してる」なんて言わない、“I love you”は「月が綺麗ですね」とでも訳すもの」——この主張を例に、翻訳研究の考え方のひとつである「等価性」について説明します。ところで、これって誰の発言でしたっけ？ この授業では、情報を拡散する前に裏を取るの大切さも学びます。
中国文学科	宮田 義矢	中国版こっくりさん：扶鸞の文化的価値	もしこっくりさんが、長い歴史を持った文化的実践にまで昇華したとしたら、どうなるでしょう。中国版こっくりさん「扶鸞」は、六朝時代に起源をもつ長い歴史のある占いの技法です。基本的には、文字で“神霊のお告げ”を貰うものなのですが、やがて大部の文学や経典を生み出す文化的実践へと“化けて”いったのです。
英米文学科	中澤 紀子	英文法をやさしく深く学ぶー現在完了時制と過去時制ー	日本人には難しいとされている動詞の現在完了という時制。それを過去時制と比べながら図解と簡単な英語による説明でやさしく深く学んでいきましょう。
教育学科	石渕 聡	身体表現教育について	「からだ」というものは皮膚で覆われていて筋肉で動いていて血液が流れている我々の心の棲家ではありません。それはむしろ思考やイメージの産物なのです。教育において身体を取り上げるとはどのようなことなのかを学んでいきます。
書道学科	丸山 猶計	文化財としての書に学ぶ	王羲之や空海の書は、書道の定番のお手本であり、同時に文化財です。よく書くためには手本をよく見る眼、つまり観察が不可欠です。今回は、モノとしての筆跡を精密に観察する体験から、文化と文化財の関係に迫りたいと思います。
歴史文化学科	野瀬 元子	地域の力を歴史に探るー知られざる川越の史跡をめぐる実践ー	歴史文化学科の学生たちが調査研究をもとに、市民の方々を対象として川越の史跡をめぐる、解説する行事を行いました。地域ではまだ知られていない歴史に着目し、その価値を共有することで歴史研究の成果を社会に還元していく実践です。歴史学×地域社会の経験を積んだ大学生の話聞いてみませんか。
社会経済学科	内藤 二郎	日常の選択と経済学：「その時間の価値は?ー“見えないコスト”を見抜く力」	「それって本当におトク?」-そんな疑問から始まるこの授業！アルバイト、大学での勉強、スタバでの友達とおしゃべり、ボーイ活やSNSなど、日常の何気ない選択にも“見えないコスト”が潜んでいます。自分の時間や行動の価値を、経済学の視点で見直してみましょう。考え方や行動がきっと変わるでしょう。日々の時間の使い方や将来の進路選びにも役立つヒントが見つかるはず。ぜひ、体験してみてください。
現代経済学科	山下 東子	身近な悩みも国際問題も「囚人のジレンマ」を使えばナットク！	囚人のジレンマは、犯罪者の2人が捕まって、別々の取調室で「白状しろ!」と迫られる場面から始まります。2人は「捕まったら黙秘しようね」と約束して別れたのに、つい白状したくなるというジレンマ（2つの選択肢の間で揺れ動く）に陥ります。コレが経済学?と意外でしょうが、私たちの身の回りに多くの例があるので。
中国語学科	森 路未央	日本企業の中国ビジネス、今後はどうなる?	日本企業の海外進出先第1位は中国です(企業数ベース)。最大の進出先はなぜ中国なのか?日本企業は中国でどのようなビジネスを展開しているのか?今後は拡大、現状維持、縮小、どのような選択をするのでしょうか。事例を見ながら説明します。
英語学科	モリス ジョン	詩ごろの翻訳入門ー日本語から英語への挑戦	詩の翻訳は、ただの言葉の変換ではありません。響きやリズム、感情までもが詩には込められています。それらを英語でどう表現するか、一緒に挑戦しませんか。詩の翻訳を通じて、言葉の奥深さや異文化の魅力を体験し、翻訳の面白さと難しさを学ぶ入門講座です。
日本語学科	須田 義治	ら抜き言葉は「正しい」!?	あなたは、ら抜き言葉を「間違った」日本語だと思いませんか。この授業では、ら抜き言葉を方言や歴史の面から見るとともに、現代語において、ら抜き言葉がどのように「役に立っている」かを見ていきます。そして、「正しい」「間違っている」ではない、大学で学ぶことばの学問について考えてみたいと思います。
法律学科	萩原 基裕	隣人訴訟から読み解く民法の役割	親しい隣人の間でトラブルが起こってしまった場合、どのように解決されるべきでしょうか。いくら親しい間柄とはいえ大きなトラブルとなってしまう場合は解決は容易ではありません。民法という法律は個人同士の問題を解決することを目的の一つとしていますが、本講義では隣人訴訟という裁判例を題材に、民法の役割や争いごとの望ましい解決方法を考えます。
政治学科	川名 晋史	トランプ2.0で国際政治はどうなる?	第2次トランプ政権の誕生によって世界が揺れています。アメリカの孤立主義とは何でしょうか。アメリカは「世界の警察官」を辞めたのでしょうか。アメリカはこれから日本に何を求めてくるのでしょうか。こうした疑問にわかりやすく答えます。
国際関係学部	兪 敏浩	国際政治を見る目：コンストラクティビズムという視座	国際政治理論の一つであるコンストラクティビズムについて、身近な事例を挙げながらわかりやすく解説します。
経営学科	国府 俊一郎	人を動かすには。ー経営学、人的資源管理論からのアプローチー	どうして「人」は思った通りに動いてくれないのでしょうか。企業の経営資源はヒト・モノ・カネ・情報と言われますが、ビジネスを始めるときに私たちはなぜ「ヒト」を雇うのでしょうか。そして、「ヒト」という資源にはどのような特徴があるのでしょうか。こうした問いを手がかりに、人を動かすヒントを探っていきます。
スポーツ科学科 （午前の部）	小出 高義	体育は何を指導する教科?	体育とは、体を育てると読むならば、教科としての価値もそこにあるように思います。体を育てるためには、トレーニング的な内容が手取り早いでしょうか。いや、運動はうまくなってナンボというならば、技術練習が中心となるでしょう。しかし、本当にそうでしょうか。
スポーツ科学科 （午後の部）	湯浅 康弘	スポーツを科学的に学ぶ	スポーツ科学とは、様々なデータに基づきスポーツ活動を充実させるアイデアを提供する学問分野です。みなさんが日常的に親しむスポーツについて、科学的な視点から捉え、学ぶことの大切さについて考えてみましょう。
健康科学科	小林 幸次	あなたの足は大丈夫?足裏からみる健康状態	日頃、自分の足についてあまり気にかけていない人が多いかもしれません。ですが、足の状態を知ることで、現在の健康状態などを少し知ることができます。本講義では、足の状態と生活習慣や健康との関わりについて紹介するとともに、実際に自分の足の状態について考えてもらう機会を設けたいと思っています。
看護学科	眞島 崇	お薬の正しい飲み方って?～看護師と薬剤師の連携活動から～	お薬を使った治療をする際に、薬の知識はとても重要です。そこで、「薬ってどうやって効いてるの?」「薬を正しく飲まないとうなるの?」といった観点から、看護師に求められるお薬の知識と薬剤師との連携の重要性について学んでみましょう。
社会学科	香川 めい	「大人って何?」からみる社会学	2022年の民法の改正で18歳から成人になり、公的に「大人」とされる年齢が早まりました。とはいえ、「大人」と「子供」の境界は、実際は結構あいまいです。この授業では、「大人」になる道筋がどのように変化してきたのかを確認しながら、現代社会で「大人になること」について考えます。